

ニュース **交差点**

★空調衛生協会が工作機械寄贈★八幡浜 愛媛を担う技術者の育成に役立ててもらおうと、県空調衛生設備業協会(佐藤守成会長、44社)は3日、八幡浜工業高校に工作機械や試験器具3点を寄贈した。

同協会は「若人育成支援」事業の一環として、2011年度から工業系学科のある高校に授業で使う備品を寄付。八幡浜工には電動やすりを電気技術科に、工作物の高さを測定するゲージを機械土木工学科に、コンクリートの強度試験器具を土木科にそれぞれ1台ずつ贈った。

八幡浜市古町2丁目の同校であった贈呈式には、協会の土居仁副会長や佐々木

隆副会長ら5人が出席。土居副会長が「授業や技術競技の練習に活用し、愛媛を背負って立つ若者を育てていただきたい」と呼び掛けると、生徒会長の機械科3年上岡弘典君(18)が「大切にに使わせていただきます」と謝辞を述べた。



八幡浜工業高に工作物の測定ゲージなどを寄付した県空調衛生設備業協会の土居副会長(左から3人目)と佐々木副会長(同4人目)